

# だんだん

こなんホスピタル季刊紙

# だんだん

第20号



## こなん野球部で行った組織改革

総務課長 坪倉 進

こなんホスピタルには職員の野球部というものが存在します。ご存知ない方のために紹介させていただきますと、部員数三十名(内、幽霊部員若干名)、高校野球経験者から野球歴キャッチボール程度、年齢も二十代から五十代まで幅広い人材を有しております。

このようなタイトルから「あの東北の某球団のようにGMでも解任したのか?」とか思われるでしょう。……いやまあ、そこまで思われたいとしても、病院として部に何らかの干渉をしたのではと思う方はいらっしやるでしょう、きつと。今回の話はそうではなく、自主的に組織の再建をした話をご紹介したいと思います。

かく言う私も現在野球部に在籍しております、チームでの位置付けは阪神の松山選手

のような状態と言ったらご理解いただけますでしょうか。試合では常にスタメンの当落選上において、守備位置はライト、年齢も同じ(関係ないけど)。

数年前までのことです。毎年秋に近隣の病院の野球部四チームが集まって野球大会を行っていました。大会前になってから野球の練習をするのですが、だいたいに集まる人数が一定しない、そもそも誰が部員なのか、球場代の支払いはどうするのか、チームは高齢化していく、といういろいろと問題を抱えていました。取りあえず大会は何とか乗り切るんですが、また翌年も同じことの繰り返しで、当時の暫定部長(これもはっきりとした部長という訳でなく)も部を仕切るのに苦労をしていました。

そこで若手部員が中心となって今の体制の問題点を検討し、一つ一つ解決していきました。まず部員をきちんと登録し直し、改めて部長とキャプテン、会計を定め、ついでにマ

ネージャーも入れました。次に部員から毎月部費を徴収して部の運営費としました。部としての体制が固まったところで、部長・キャプテンが年間の練習計画を作り、計画的にチーム作りをした結果、部としてのまとまりは格段に良くなりました。練習への参加も増えることで個人の技術が上がり、チームのレベルも上がっていきました。

この体制になって今年で四年目です。野球大会では優勝こそ逃していますが、常に準優勝できる位置にいます。この結果以上に、若手中心に自主的に部を建て直し、組織を作ってきたことが評価されるべきだと思えます。この経験が何らかの形で病院運営に役立つことを願ってやみません。



# 家族会報告

## 老人家族会

平成十七年三月二十七日開催

介護福祉士 山田 由美

三月二十七日(日)午後より老人家族会が「グループホームあい」の二階にて開催され、今回は九名の御家族の方の参加がありました。まず初めに郷原看護部長より高齢者の方達へより良い生き方を支える為のサービスを提供する「グループホームあい」の基本理念や運営方針等の説明を受けた後、職員の案内にて施設見学を行いました。その後、御家族の方から患者様が入院される迄や入院されてからの苦労話、その他日頃から疑問に思っている事など、たくさん質問やお話を聞かせて頂きました。まず最初は誤えんについての質問がありました。「入院している家族の事も心配だが、も

し自分が入院した時にもどのような事なのか知っておきたいから」。これには郷原看護部長よりボードを使用して誤えんが起こりやすいメカニズムと予防についての説明がありました。又、御家族の方より三重県の総合病院では薬は使用せず栄養士が個人個人にあわせて食事作りで健康を取りもどしたという貴重なお話も聞かせて頂きました。その他の方達の声としては「入院した時に必要なお金の事が心配だから情報がほしい」、「母がお世話になっているが面会におとずれた時、母の顔には目やにが付いていた。せめて朝は顔をふいてほしい」、「洗濯物の中に他人の物が混ざっていた」、「妻が入院しているが自分も年を取っていくので今後の事が不安」など沢山のお話を聞かせて頂く事が出来ました。今回のお話を聞いて私達も今後はもっと気持ちを引きしめなければと反省させられる点が沢山ありました。それを今後の看介護に生かし患者様や御家族の方にも安心し喜んで頂けるように努力していきたいと思えます。次回も又たくさん御家族の方達の参加を頂き、日頃思っておられるお話が聞ければと思っております。

## さわやか会

平成十七年四月十六日開催

作業療法士 江角 陽子

今回は、当事者(入院患者様を含む)・家族様を含め、多くの方に参加して頂きました。稲田先生、高橋薬剤部長からは薬についての次のような説明がありました。

薬について、漢字を見るとイメージしやすいかと思いますが「自然の物(食物)を食べるに楽になる」、「人間を助けてくれる物」という意味があります。その名の通り、薬の成分の六五パーセントは植物からできています。気になる副作用については、主な症状に口渇、便秘、手の震え、舌のもつれなどがあります。また、薬を飲む際にはアルコール類と一緒に飲まないよう注意して下さい。アルコール類と一緒に飲まれますと、薬の作用が過剰に出て、体を悪くしてしまうそうです。皆様からも、左記のような質問を頂きました。

Q1. どれくらいの期間飲んだら良いのでしょうか？

A. 抗生物質 一週間。抗精神病薬 四〜六

# だんだん

週間で病状が改善します。その後、自分に合った薬を、三〜五年以上飲み続ける必要があります。

Q2・薬と肥満は関係がありますか？

A・全部の薬が、肥満になるわけではありません。運動量を増やす必要があります。

Q3・病気の状態は良かったのに、薬の色が変わったのは何故でしょうか？（医薬品セレネース レモナミンへの変化）

A・色は違いますが、薬の成分は同じです。ジェネリック商品と言い、一般価格の七割で自己負担が少なくなっています。

Q3の質問をされたご家族様からは、「話を聞き安心した」という声が聞かれました。普段疑問に思っている、なかなか聞けない事もあるのではないかと思います。稲田先生からも、主治医も薬を考えて処方していますので、何かあったらいつでも相談して下さいと話されました。

最後に、家族会に参加させて頂き、当事者や御家族様の意見から考えさせられることが多く、これからも家族会に参加することを大切にしていきたいと思えます。

次回

## さわやか会

7月16日(土)

ふれあいルームにて  
午後1時30分から開催です

次回

## 老人家族会

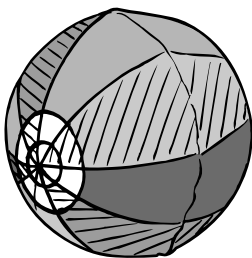
6月19日(日)

ふれあいルームにて  
午後1時30分から開催です

お気軽に御参加下さい。お待ちしております。

お気軽に  
ご相談下  
さい

こなん通所リハビリテーションは  
土曜・日曜・祝祭日も  
行っています。



●問い合わせ先

こなんホスピタル

TEL 0852-66-0712

青木 誠

# だんだん



桜の開花宣言の声が聞かれるようになった三月二十八日『グループホームあい』が開所しました。ただ今、九名の入所の方と七名の職員とで生活を共にしています。

『あい』は全室が個室となっていて、それぞれのドアが違う色に造られていてとてもカラフルな色合いになっています。そして、随所には木目調を生かした造りになっていて、木の香りが漂う安らぎの空間となっています。

また、皆さんと一緒に食事をしたり、茶話会をするホールからの続きに和室があり、コタツに入りながらお茶を飲んだり、話や昼寝

をしたりとくつろぎの場となっています。

そして、『あい』一番のお勧め所は畳の廊下です。やはり高齢者の方には一番馴染みのある物ではないかと思えます。畳の匂いと感触は日本の昔ながらの物であり、その中で生活しているとても気持ち落ち着きます。

さて、ホームでの生活ですが、『あい』ではお米の炊き上がる香りで一日がスタートします。前日にセットされたお米が蒸気を上げる七時前になると一人二人とホールに集まるところられます。新聞を読まれる方、テレビを観られる方などそれぞれが自由に朝の時間を楽しみながら一日が始まります。

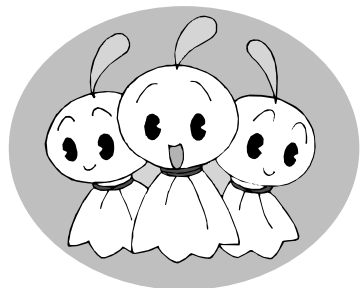
日中の天気の良い日には屋外に茶話会に出掛けたり、桜やチューリップの時期には車でお花見に出掛けたりしています。帰られてから皆さんにお話を聞くと「とても綺麗に咲いていたよ」とか「赤い色の花が良かったわ」など、楽しそうに話をしてくださいませ。

また、先日は陶芸やパン作りにもチャレンジしました。陶芸はあまり馴染みがなく戸惑われた様ですが、小物入れや箸置きなど上手に作られていました。

夕方が近づくと一緒に夕食作りが始まります。キッチンに並んで立ち、昔のお話や料理

にまつわるお話など色々聞かせてもらっています。料理の方はそれぞれができる範囲で野菜を切ったり、味噌汁の味付けをしたり、盛り付けをしたり、と皆で協力しながら準備をしていきます。入所された当初はお客様状態だった方が、今では自ら進んで料理や盛り付けをしてくださったりします。中でも、おふくろの味である煮物には長年の主婦のキャリアが光り、私達には真似できない一品を作ってくださいませ。

『あい』では皆さんが今までご家族で生活されてきた生活習慣や雰囲気に近いような様努力をしています。入所の方々が「ここに居ると心が落ち着く」と言ってくくださるような場、空間を作っていける様、職員一同頑張りたいと思います。





3月に1年間遊びに来てくれた  
宍道幼稚園“ゆり組さん”との  
お別れ会をひらきました。



# 行 事 報 告

4月には満開のさくらを見に  
木次へお花見にでかけました。



お・知・ら・せ



こなんホスピタル

ホームページのご案内

Home Page

こなんホスピタルのホームページはもうご覧になりましたか？

当院の最近の動きや、今後の行事予定など、最新情報もどんどん更新しています。

下記アドレスからだけでなく、ヤフーなどの検索サイトからも「こなんホスピタル」で検索すればご覧いただけます。

また、当院に対するご意見、ご要望も電子メールで受け付けております。

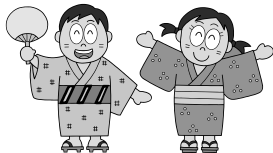
お気軽にどうぞ。

URL <http://www.doujinkai.jp>

E-mail [info@doujinkai.jp](mailto:info@doujinkai.jp)

夏祭りのお知らせ

7月30日(土)  
に行います。



寄稿  
募集中!

こなんホスピタルの病棟・外来等との関わりの中で感じられたことや日常生活の中でのちょっとした思い等、皆様から寄稿していただければ幸いです。

(本名・匿名どちらでも受け付けます)

第21号

9月  
発行予定

医療法人 同仁会  
こなんホスピタル  
編集委員会

平成17年6月10日発行  
<http://www.doujinkai.jp>  
TEL.0852-66-0712(代)

印刷 土江明文社

はやいもので今年も、もう半年過ぎてしまいました。みな様いかがお過ごしでしょうか。

恵みの時期でもありますが、またジメジメした日がやってきました。嫌な梅雨ではありますが、ハスの花や蛍といった私たちを楽しませてくれる季節でもあります。忙しい生活の中、ホッと一息、時間を止め、美しいものに目をうばわれるのもいいですね。

七月三十日には毎年恒例の夏祭りを計画しております。療養者の方々、御家族様、そして地域の皆様方に楽しんでいただけるよう職員一丸となって企画しております。ぜひ遊びに来て下さい。

暑い夏が近づいて来ます。皆様お体には充分お気を付け下さい。

編集後記